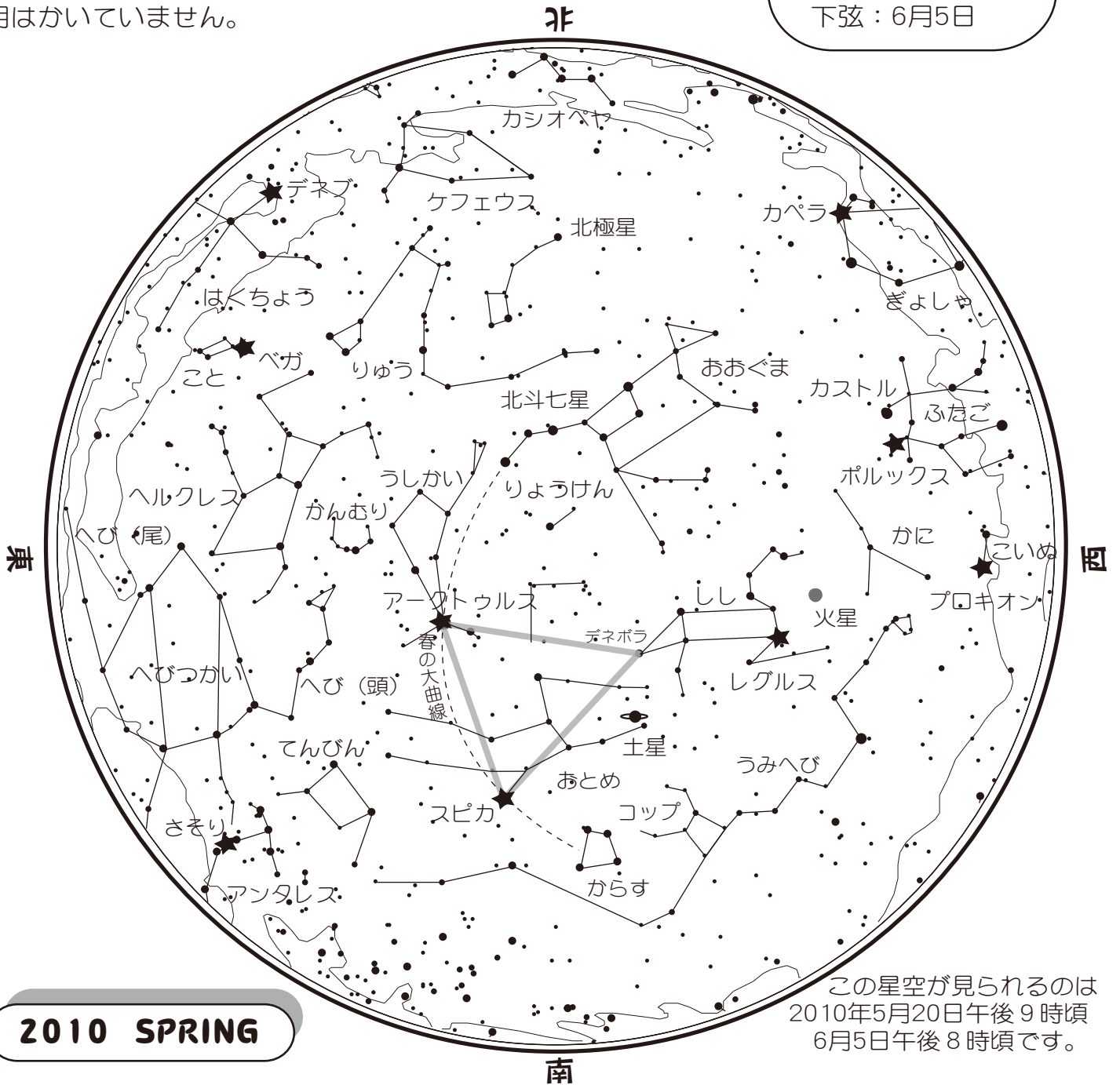


★ 姫路で見る5月後半の星空 ★

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図を見るときには見ている方向の方位を下にして下さい。
★は一等星を表しています。
月はかいていません。

上弦：5月21日
満月：5月28日
下弦：6月5日



この星空が見られるのは
2010年5月20日午後9時頃
6月5日午後8時頃です。

今頃の一番星は太陽系の惑星、金星です。夕方西の空で宵の明星として輝いています。ほかにも惑星の火星と土星が春の星空に見えています。

北の空高くに見える北斗七星は、おおぐま座のしっぽにあたる星ならびです。おおぐま座のしっぽからうしがい座のアークトゥルス、おとめ座のスピカ、そしてからす座までを大きなカーブを描きながらたどりましょう。それが「春の大曲線」です。また、アークトゥルスとスピカ、しし座のしっぽの星ベネボラをむすんでできるのが「春の大三角」です。

東の空からはヘルクレス座やへびつかい座がのぼってきます。ひっくり返った勇者ヘルクレスの姿は南の空に見られる化け物星座、しし座、かに座、うみへび座をいまでも追いかけているようです。へびつかい座はへび座を頭と尾にわけている少し変わった星座です。またミニ星座のかんむり座が、うしがい座とヘルクレス座の間に見えています。少し暗い星がアルファベットのCのようになっています。に見えています。少し暗い星がアルファベットのCのようになっています。